

自治会の目的

隣人愛と相互扶助の精神を基調とし、地域住民の親睦と団結を図りつつ社会環境の浄化向上に努め、明るく住みよいまちづくりに寄与する。



発行 中志津自治会
発行責任者 会長 長谷川 稔
編集責任者 事務局長 黒木 高
所在地 佐倉市中志津3-17-2
自治会センター内
電話 (043) 487-4894
http://www.nakashidu.sakura.ne.jp/

収支計算書 (単位:千円)

Table with 4 columns: 科目, 平成29年度決算(A), 平成30年度予算(B), 前年対比(B)-(A). Rows include 経常収入合計, 経常支出合計, 経常収支差額, etc.



平成30年度定期総会次第
「開会のことば」
「会長あいさつ」
「来賓あいさつ」
「総会成立(定数)確認」
「議事」
「功労者表彰」
「役員退任のあいさつ」
「役員就任のあいさつ」
「閉会のことば」

世帯当り表決書面状提出集計

Table with 4 columns: 区, 3月末会員世帯数, 表決書面状提出数, 提出率. Rows for 1区 to 7区 and 総計.

賛助会員を除く

(3月末現在)

Table with 2 columns: 項目, 数. Rows: 会員数 (7,322人), 会員世帯数 (2,778世帯), 非会員世帯数 (405世帯), 世帯加入率 (87.3%)

中志津自治会創立50周年を迎えて



自治会長 長谷川 稔

去る、四月二十九日(日)平成三十年定期総会が開催されました。

当時・角栄団地自治会)は昭和四十三年十一月に会員九百余戸で発足し、本年は自治会創立五十周年を迎えました。

の平均年齢を引き上げています。平成二十九年三月実施の「生活支援ニーズアンケート調査結果」においても、今後の自治会活動を進めるうえで、極めて基本として考えなければならぬ声が寄せられました。

この度、区役員として自治会にご尽力された方々が退任することになりました。多分にわたり自治会活動に携わり貢献された皆様には厚くお礼申し上げます。

平成三十年 功労者表彰

自治会として本年も取り組まなければならぬ問題は山積です。役員一同力を合わせ頑張る所存です。

私の中志津に住み五十二年目になります。時の流れの速さを感じているところですが、中志津も近年空家・独居世帯が増えました。

間での議案書の各戸配布・出欠届(表決書面状)の回収には各区班長の皆様に、そして表決書面状の集計には総会管理委員会の皆様にご協力を頂きました。

- 区退任者: 高山 英夫(一区副区長), 久保田 洋一(二区副区長), 田中 弘幸(二区副区長), 喜澤 雄悟(三区副区長), 蛭原 隆則(三区副区長), 鈴木 壽重(四区副区長), 國村 智(四区副区長), 佐々木 繁(四区副区長), 渡川 真智子(四区会計)

平成三十年定期総会

平成三十年定期総会

四月二十九日(日)に下志津小学校体育館で「平成三十年定期総会」が開催されました。

- 一号議案 平成二十九年 活動報告
二号議案 平成二十九年 決算報告
三号議案 平成二十九年 監査報告
四号議案 平成三十年 活動計画(案)
五号議案 一般積立金、御輿修理積立金の取崩しについて
六号議案 平成三十年 予算(案)
七号議案 会則(第三条 区域)改定
八号議案 平成三十年 本部役員選任

平成二十九年定期総会について
平成二十九年の経常収入合計二千七百二十六万円に対し、経常支出合計二千八百八十九万円、経常収支差額五百三十七万円の赤字決算であり、軽トラの買替え、災害対策用設備等の固定資産取得が発生し、当期収支差額は三百四十四万円となりました。

平成三十年定期総会について
平成三十年の経常収入合計二千五百八十二万円に対し、経常支出は固定資産取得と合わせて二千七百六十八万円、百八十六万円不足の予算になります。その不足分については総会五号議案で可決されました。

総会は登坂一行議長(一区)、山川剛副議長(二区)を選出し以下の議案について審議が行われました。

審議の結果、各議案は提案通り承認されました。

総会開催にあたって、短期

年並みの内訳となっております。